

# 折りたたみ自転車の組立(抜粋版)

本書は折りたたみ自転車の組立手順のみを抜粋した簡易取扱説明書です。自転車本体に関する詳しい取り扱い方法などは別冊の取扱説明書に記載していますので併せてお読みください。

## フレーム組立の手順

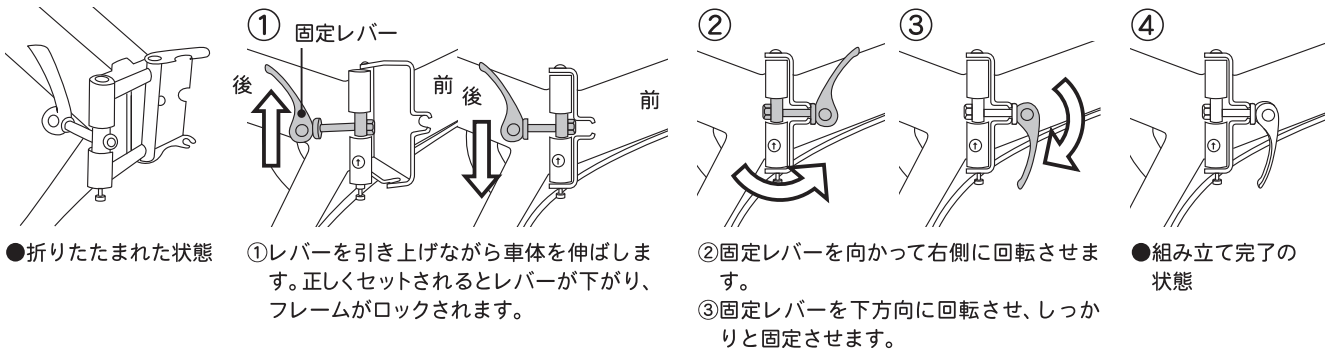
自転車本体を箱から出し、梱包材を全て取り外してください。

折りたたみ自転車は、まずフレームの組み立てから行ってください。フレーム組み立て後、スタンドを立てると自立します。

※図の自転車は代表車種です。実際のものとは仕様が異なる場合があります。折りたたむ場合は逆の手順で行ってください。

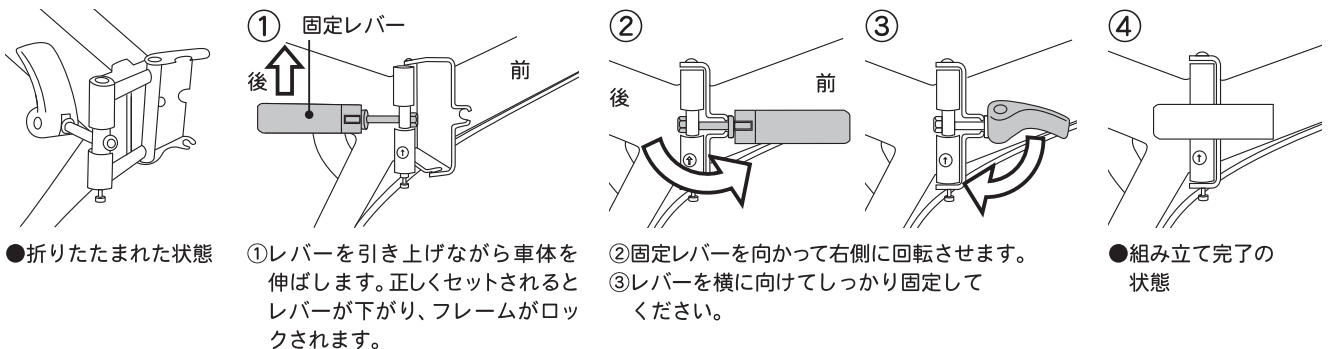
### 下方向でロックするタイプ

※ギヤ側真横からフレームを見た図



### 横方向でロックするタイプ

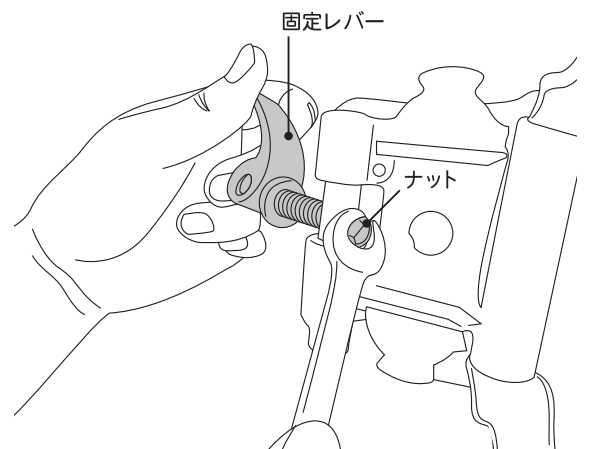
※ギヤ側真横からフレームを見た図



### 折りたたみレバーが固い、またはゆるすぎる時

レバーの固さが適正でない、走行中にゆるんだり外れる可能性があり大変危険です。レバーの固さは、ナットで調整することができます。

レバー稼動部に潤滑性の油を注すことで、動きがスムーズになり、強度も増します。(潤滑油は商品に付属していません。)



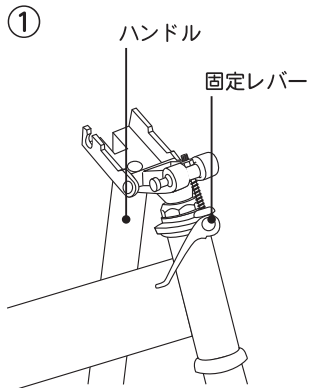
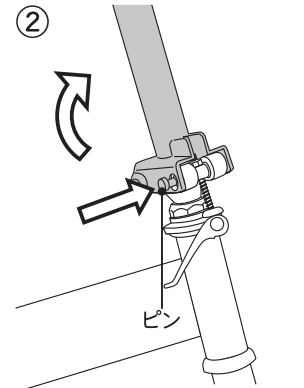
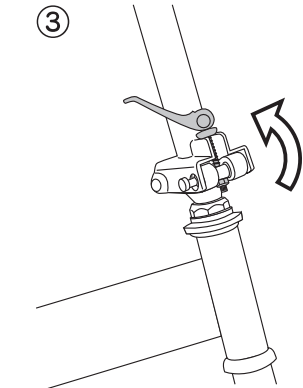
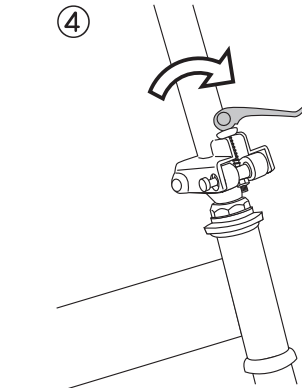
## ⚠ 注意

乗車する際には毎回、固定レバーが確実にロックされているか確認してください。ハンドルの向きに気をつけて、ブレーキワイヤー(変速機能があれば変速ワイヤーも含む)がハンドルの前側になるようにハンドルを差し込んでください。ワイヤーが絡んだり、巻きついている場合は、ハンドルを回転させたり、ハンドルを抜いて正常な状態になるように差し直してください。

# ハンドルの取付・組立方法

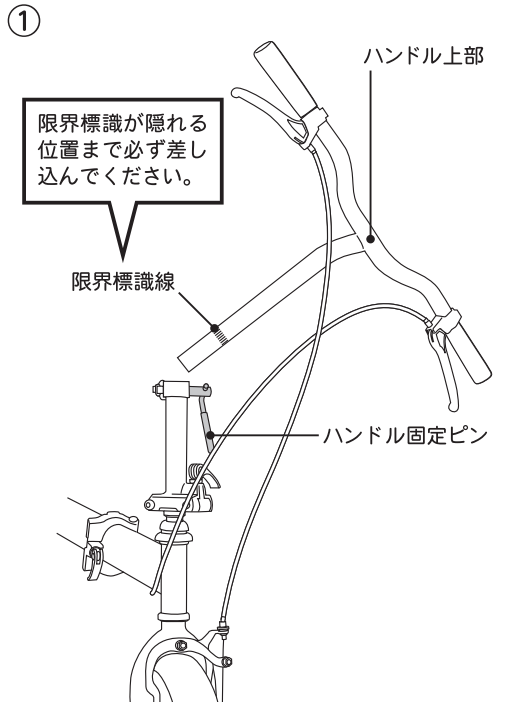
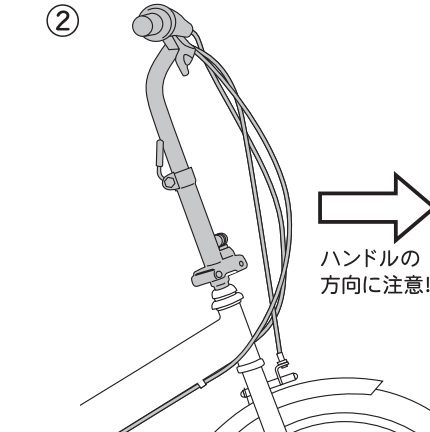
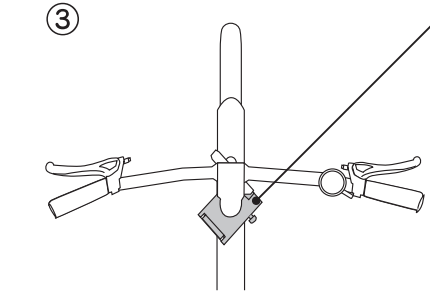
## 折りたたみハンドルタイプ

※折りたたみハンドルタイプは、ハンドルの高さ調整はできません。

- ①  ①折りたたまれた状態
- ②  ②ハンドルのピンを押しながらハンドルを立ち上げます。
- ③  ③固定レバーを回転させ上側に引っ掛けます。
- ④  ④固定レバーを締め付け固定します。

## 接続折りたたみハンドルタイプ

※ハンドルから出ているワイヤーが、全てハンドルとフレームの前側になるようにハンドルを差し込んでください。(変速機付の自転車は変速ワイヤーも同様です。)

- ①  ①取り付け前の状態  
 限界標識が隠れる位置まで必ず差し込んでください。  
 限界標識線  
 ハンドル上部  
 ハンドル固定ピン
- ②  ②固定ピンを右回し(時計回り)に回して締め付け、固定してください。  
 ※折りたたみ部分の操作方法は、後記のハンドルタイプと同じです。  
 ハンドルの方向に注意!
- ③  ③上から見た図  
 ③折りたたみハンドルバーを固定すると折りたたみピンジ部の取付方向(角度)は図のようになります。  
 ※車種によりハンドルの折りたたみ方向が異なり、図とは逆の角度になる場合もあります。

### ⚠ 注意

乗車する際には毎回、ハンドルの固定確認を行い、各部のガタ・ゆるみがないか、確実に固定されているか確認してください。  
 ガタ・ゆるみのある場合や、固定されていない場合は、再度締め付けを行ってください。

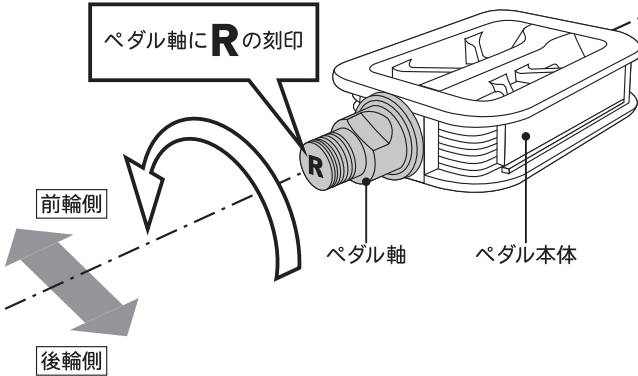
## ペダルの取付方法

ペダルには右用(Rと刻印)と左用(Lと刻印)があります。

右側のペダルは右回し(通常のネジと同じく時計回り)になりますが、左側のペダルは走行中に脱落しないよう左回し(反時計回りにペダル軸を回転させて取り付ける構造)になっており、それぞれ取り付けの回転方向が異なります、ご注意ください。

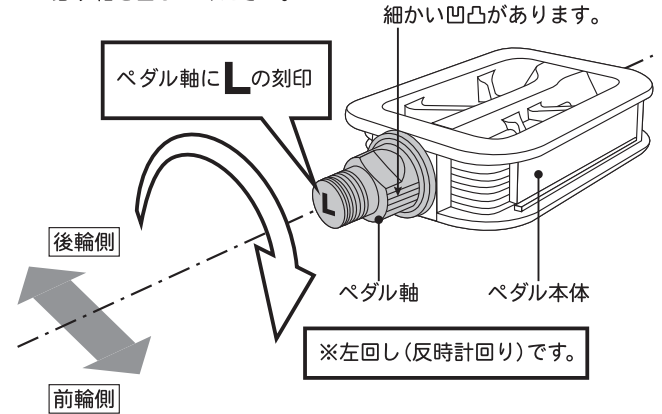
### ① 右側用ペダル (クランクに対して時計回りで取付)

右回し(時計回り)にペダルの軸のみを回してください。  
ペダル本体(足を乗せる部分)を回しても取り付けはできません。  
必ず軸を回してください。



### ② 左側用ペダル (クランクに対して反時計回しで取付)

左回し(反時計回り)にペダルの軸のみを回してください。  
ペダル本体(足を乗せる部分)を回しても取り付けはできません。  
必ず軸を回してください。



最初は手でペダルの軸をクランクのネジ穴にねじ込み、軽く2~3回転以上回してください。

この際、グリス、オイル等(商品には付属していません)をお持ちであれば、先にネジ山に被せていただくと作業がしやすくなります。ペダルがクランクに対してまっすぐ(直角)に入っていることを確認し、レンチを使用して、確実にペダルをクランクに固定してください。

ペダルを無理矢理クランクにねじ込まないでください。

無理矢理ペダルをねじ込んで自転車走行させると大変不安定になるほか、クランクのネジ山が削れてペダルが脱落してしまう可能性があります。

ねじ込みの最後は工具にてしっかり締めてください。締め付けがゆるいと走行時にネジがゆるみ、ペダルが脱落する可能性があります。走行時にペダルが脱落すると大変危険なうえ、クランクの修理も不可能となってしまいます、ご注意ください。

※誤った組立方法に起因する破損は、保証対象外となりますのでご注意ください。[保証規定B-13]

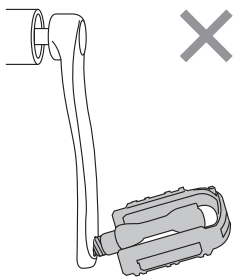
締めこんだ際にバリが発生したときは速やかにバリを取り除いてください。

※「バリ」を取り除く際は、鋭利になっている場合もあるので怪我をしないようにお気をつけください。

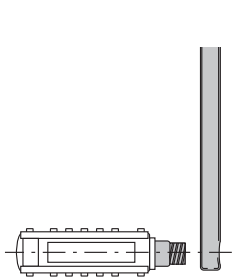
ペダルの端に荷重をかけて走行しないでください。

ペダルの端に過度な荷重をかけると破損に繋がる可能性があります。ご使用の際は、ペダル面へ均等に且つ取り付け軸付近に荷重をかけるようにして走行してください。

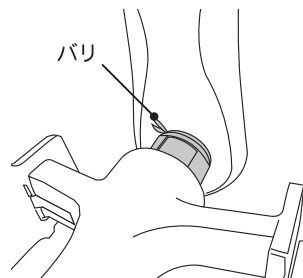
### ⚠ 注意



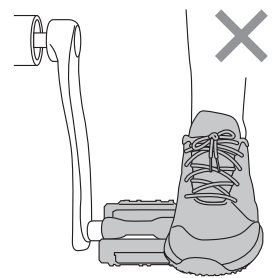
斜めに取り付けたり無理矢理ねじ込まないでください。



クランクに対してまっすぐにペダルを取り付けてください。



ペダル取り付け時に発生する「バリ」は速やかに取り除いてください。



図のようにペダルの端に荷重をかけて走行しないでください。なるべく取り付け軸付近に足を乗せてください。